

「幼児教育指導者のための防災研修会」

1. 趣旨

前橋市国土強靱化地域計画の重点化施策の一つである「防災啓発・防災教育の推進」を目指し、保育現場における防災啓発及び防災教育を幼稚園を中心とした園児及び幼稚園教諭に対し実施しその充実を図る。また、実施にあたっては、BCP（災害時に重要業務が中断しないこと）を考慮する。

2. 事業の概要

(1) 期日

令和6年1月19日（金）～1月20日（土）【1泊2日】

(2) 参加者

①参加対象

幼稚園教諭・保育士等

②参加人数

9名（宿泊2名、日帰り7名）

3. 企画運営のポイント

(1) 実施にあたっては、一般募集の他、一般社団法人群馬県私立幼稚園・認定こども園協会と連携・協力する。特に、参加者募集については、協会を通じて実施した。

(2) 事業の企画段階から、防災の専門家である群馬大学大学院の金井昌信教授と内容の検討を行い、BCP（事業継続計画）を考慮した内容とした。

4. 日程

	午 前	午 後
1月19日 （金）		開会式 幼児教育プログラム紹介・施設見学 情報交換
1月20日 （土）	朝のつどい 開会式 防災研修1	防災研修2 閉会式

5. 主な活動内容



幼児教育プログラム紹介・施設見学



防災研修会①



防災研修会②

6. 成果と課題

(1) 参加者アンケート結果

満足7人(78%) やや満足2人(22%) やや不満0人 不満0人

(2) 参加者の声

- ・新しい気付きがあった。
- ・中途半端な意識でなく、職員全員で防災に向き合わないと、どうにもならないことが分かった。
- ・避難する場所によって、必要なものが変わってくるのでしっかりと考えておこうと思う。
- ・当たり前を違う視点から捉えて防災について考え直すきっかけとなった。他の職員とも共有していきたい。
- ・2年越しの参加だったが、BCPからBCMの流れを汲み取ることができ有意義であった。
- ・未満児(0～2歳児)の園に勤務している。避難となると、職員の手が多く必要になる。避難や保護者が迎えに来ない場合の対策を考えると、そこからの話し合いが進まない。改めてBCMを行い、子供たちの命を安全に守ることができる防災を考えていきたい。

(3) 成果

- ・幼児教育プログラムの紹介・施設見学では、「宿泊することで、施設の使い方が知ることができた。」という感想から、参加者のニーズに応じた、きめ細やかな説明ができていたと考える。
- ・防災研修では、「新たな気付きがあった。」「当たり前を違う視点から捉えて防災について考え直すきっかけとなった。」という感想から、災害時における各園の安全管理や職員の役割分担に新たな視点を加えることができたと考える。

(4) 課題

- ・参加者の満足度が高い研修会ではあるが、応募人数が定員に達していない。募集の仕方や範囲、事業の在り方を再考する必要がある。
- ・1月の開催は、積雪による交通障害や感染症拡大が想定されるため、夏季又は秋季の開催を検討する必要がある。

担当 企画指導専門職 小林 大輔